総務部広報統計係 ☎75-2116/M75-2110

hoice



で さらが 顔を多く

初代優勝はグリーンフューチャー

(緑が丘小

志田林三郎博士顕彰会は12月25日、市内の小 学4年から6年生を対象にしたロボットコンテ ストを中央中学校技術室で行いました。

郷土の偉人「志田博士」の業績にちなみ、明 日の日本を担う子どもたちの科学技術への関心 を高め、ものづくりの楽しさや喜びを知っても らおうと初開催。ザリガニロボットを作り、餌 を確保し、巣穴に持ち込むシーンの再現がミッ ションでした。

参加した児童らは、県大会優勝経験のある中 央中学校科学部の生徒に教わりながらロボット を製作。高得点を目指して工夫を凝らしました。

餌に見立てたフィルムケースを取り合う試合 では、不慣れなロボット操作も声を掛け合って 協力。中学生が披露したデモンストレーション では、児童も保護者も熱心に見入っていました。

悪戦苦闘しながらも楽しく夢中になる姿に、 保護者も思わず童心にかえるアットホームな雰 囲気に包まれた大会となり、優勝は緑が丘小の 4年生4人で構成のグリーンフューチャーチー ムでした。

今年も安心安全のために消防精神を発揮

多久市消防団の出初め式が1月9日に行わ れ、団員約400人が消防署グラウンドから式典 会場の中央公民館まで、横尾市長の観閲を受け て分列行進しました。

式典では、優良団員などの表彰の後、横尾市 長が集中豪雨や火災での団員の的確な対処に感 謝し「消防精神を発揮して今年もいかんなく活 躍いただき、市民の安心安全のためにお力添え を賜りたい」と激励。また、陣内成和団長は、 今年、女性消防団が全国大会、ラッパ隊が県大 会に出場することを紹介し「消防の使命を肝に 銘じ、市民に深く応えるよう鋭意努力してくだ さい」と、参列した団員らに年頭の訓示を述べ ました。

市 防団 初

幼いころから火災予防意識の高揚を図るため 結成された、緑が丘小学校少年消防クラブやな ごみ保育園幼年消防クラブも参加し、鼓笛演奏 や遊戯の披露もありました。

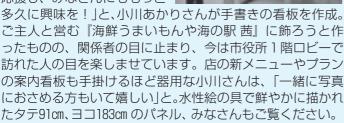
この後、牛津川河川敷でポンプ車による一斉 放水を行いました。



▲分列行進で全団員を先導するラッパ隊

多久の発信に お手伝い! 小川さんのお手製看板

「多久の魅力を発信中の FM 佐賀の "Hello 多久"を 応援し、みなさんにももっと



七草粥会で 無病息災を願う

西多久町のくど造り 民家「森家」で、七草粥 会が行われました。氷 点下の寒さの中、町内で



採れた七草を使った温かい粥、幡船汁、女山大根でのふろふ き大根をふるまい、今年1年の無病息災を願いました。

町内はもちろん市内外からも多くの人が訪れ、佐賀市の女 性は、「昨年は無かったので今日を楽しみにしていました。 美味しいです」と心と身体を満たしていました。